

2024 年 11 月 11 日

月島 JFE アクアソリューション株式会社

秋田県秋田臨海処理センターエネルギー供給拠点化事業

安全祈願祭・起工式を挙

月島 JFE アクアソリューション株式会社(以下、「TJAS」、社長：鷹取 啓太)が構成企業として参画する企業グループ(代表企業：日本工営エナジーソリューションズ株式会社)は、このたび秋田県より DBO(設計・施工・運営)方式で受注した「秋田県秋田臨海処理センターエネルギー供給拠点化事業」の安全祈願祭・起工式が 2024 年 11 月 8 日、秋田県立武道館で行われました。式には秋田県の神部秀行副知事をはじめ、国土交通省、環境省、県議会およびグループ構成企業の関係者約 100 名が出席しました。

このたび起工した本事業は、秋田市向浜地区にある秋田臨海処理センターを拠点としたマイクログリッド構築プロジェクトです。消化ガス発電、風力・太陽光発電による再生可能エネルギー電力を、蓄電池、エネルギー管理システム (EMS)、水素製造利用設備などにより需給バランスを調整しながら、向浜地区にある公共施設 10 カ所に供給します。本事業により、全施設が年間で消費する電力約 22,000MWh のうち 7 割以上を再生可能エネルギーに置き換えることができます。また残り約 3 割の電力も外部から再生可能エネルギーを購入することで、CO₂ 排出削減量は年間で約 10,000t-CO₂ を見込み、電力消費に伴う CO₂ 排出量ゼロを実現します。

本事業は地元企業を含む 6 社での共創事業となっており、日本工営エナジーソリューションズを代表企業とする企業グループは、設計・施工から運用まで一貫して本事業を遂行してまいります。設計・施工は、日本工営エナジーソリューションズ・沢木組・TJAS・東京電設サービス特定建設工事共同企業体が、2024 年に着工、2025 年～2026 年の約 2 年間で設備を構築し、2027 年からは秋田県内で再生可能エネルギー(電力)の小売事業を展開する地元企業を含めて設立した特別目的会社 (SPC) である、あきたみらい共生電力株式会社が、20 年間の運用を目指しています。

TJAS は、下水処理場における汚泥処理に強みをもち、消化ガス発電や下水汚泥燃料化などの下水汚泥のエネルギー利用に関する官民連携事業の豊富な実績とノウハウがあります。本事業においてもそれらを最大限に活かし、地球温暖化防止と脱炭素社会・循環型社会の構築に貢献してまいります。



起工式



秋田臨海処理センター 発電設備等完成予想図

■本事業の概要

案件名称	秋田県秋田臨海処理センターエネルギー供給拠点化事業
事業方式	DBO (Design Build Operation : 設計・施工・運営)
期間 (予定)	設計・施工期間 : 契約締結の日から 2027 年 3 月 31 日まで 運営期間 : 2027 年 4 月 1 日から 2047 年 3 月 31 日まで
構成企業	日本工営エナジーソリューションズ株式会社 (代表企業、以下 NKES) 株式会社沢木組 ローカルでんき株式会社 東京電設サービス株式会社 月島 JFE アクアソリューション株式会社 長州産業株式会社
体制	設計施工 (DB) NKES・沢木組・TJAS・東京電設サービス特定建設工事共同企業体
	運営 (O) あきたみらい共生電力 (NKES、沢木組、ローカルでんきによる SPC)
落札金額	6,401,382,658 円 (消費税及び地方消費税を含む)

■導入設備一覧 (予定)

設備名	規模	備考
消化ガス発電	625kW	
太陽光発電	6,900kW	
風力発電	2,300kW	1 基
蓄電池	11,000kWh	
水素製造利用装置	水電解装置 : 10Nm ³ /h、燃料電池 : 20kW	
自営線	約 5km	地中ケーブル

《本リリースに関するお問い合わせ先》

月島ホールディングス株式会社 広報室

TEL 03-5560-6503

以 上